２０１６年（平成２８年）９月２５日　日曜日
デーリー東北新聞　１３面　掲載

光星×青森山田 きょう決勝

青森県秋季高校野球　▽▽第4日

秋季青森県高校野球選手権第４日は24日、県営球場で準決勝を実施し、八学光星と青森山田が勝って決勝に進出、東北大会（10月14～19日・山形県）への出場を決めた。最終日の25日は、県営で３位決定戦と決勝を行う。（林泰輔、木村誠宏）

試合速報

きのうの結果
▽準決勝
八学光星5－4弘前東
青森山田7－2弘前工

きょうの試合
【青森県営】
▽3位決定戦
弘前東－弘前工（10・00）
▽決勝
八学光星－青森山田（12・30）

光星 逃げ切る

準決勝

弘前東	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
八学光星	0	3	2	0	0	0	0	0	X	5

（弘）鳥谷部、須藤－藤田陸
（八）成田－齊藤
▽三塁打　小池2（八）▽二塁打　桜庭、須藤（弘）

【評】光星は二回無死二塁で小池が左中間へ適時三塁打を放ち先制。四球でなおも一、三塁から吉田が中前打で続いたほか、犠打で進めて馬場の二ゴロで三走がかえり、3点をリードした。三回にも、小池が再び中越えに適時三塁打を放つなど序盤で大差をつけた。

弘前東は六、八回に2点ずつを返して1点差に迫り、最終回も1死三塁の好機を迎えたが一歩及ばなかった。

【弘前東】		打	安	点	振	球
⑦	長浜	3	2	0	0	1
H7	佐藤	1	0	0	0	0
④	樺市	2	0	0	0	0
⑤	佐々木	4	1	1	0	0
⑨	桜庭	4	2	2	0	0
③	小山内	4	0	1	0	0
②	藤田陸	4	0	0	0	0
①	鳥谷部	2	1	0	1	0
1	須藤	2	1	0	0	0
⑥	三浦	2	0	0	1	1
⑧	三上大	3	1	0	0	0
H	細川	1	0	0	0	0

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
3	0	0	1	6	32	8	4	4	2

【八学光星】		打	安	点	振	球
⑤	馬場	4	0	1	0	0
④	三枝	3	0	0	2	1
③	足立	3	1	0	0	1
⑨	田中	4	2	0	0	0
⑦	花房	3	1	0	0	0
⑧	小池	4	3	2	0	0
②	齊藤	2	0	1	0	1
⑥	吉田	4	2	1	0	0
①	成田	1	0	0	1	1

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
3	2	1	0	6	28	9	4	3	4

投手	回	打	安	振	球	失
鳥谷部	4	22	7	2	4	5
須藤	4	13	2	1	0	0
成田	9	37	8	4	2	4

【弘前東－八学光星】2回光星無死二塁、小池智也が左中間を破る適時三塁打を放ち先制する＝県営

小池主将 長打2本 主戦左腕攻略

ヒーロー

光星主将の小池智也が、長打2本でチームを勢いづけた。二回は貴重な先制打を、三回には左越えの殊勲打を放って追加点をもたらし、主戦攻略に大きく貢献した。約3週間前の練習中に右手首を捻挫して以来、「ようやく全力でできた」。東北大会出場を懸けた大一番で結果を出し、安堵（あんど）の表情を浮かべた。

本格派左腕を擁する相手との一戦、チームの決め事は「低めには手を出さないこと」。二回、打席に立った小池も、指示通り慎重に見極め、低めは徹底して振らなかった。そして5球目、浮いたスライダーを逃さずに捉えた。

三回は直球、これもベルトライン付近の打ちごろの高さだった。会心の打撃に、自然と塁上でガッツポーズが出た。

味方も続き二、三回で計5得点を挙げ、早々に主導権を握った。六、八回に反撃を受けて1点差まで詰め寄られたが、リードを最後まで守りきり、チームの9年連続秋季東北大会出場を決めた。

夏の甲子園直前にメンバーから落ち、悔しさを味わった。甲子園が終わって間もなく、主将に任命された。

「自分たちには個の力はない。全員の組織力で戦う」。秋へ闘志を燃やしていたさなか、今度は9月上旬の練習中に、右手首を捻挫。地区予選ではメンバーから外れた。

けががほぼ癒えて臨んだ一戦でつかんだ打撃への手応え。決勝は大会3連覇が懸かる。小池は「目の前の一戦に勝つことが全て。県を制して次（東北大会）に行く」と冷静に次戦を見据えた。

（林泰輔）

「相手が一枚上手」

○…先発した弘前東のエース鳥谷部慎吾は4回5失点の内容。「調子は悪くなかったが、相手打線が一枚上手だった」と素直に負けを認めた。

最速140キロ超の本格左腕。切れ味鋭い縦のスライダーも大きな武器だが、低めに落ちるボール球をことごとく見送られ、甘く入った直球を打たれた。

「狙われても打たれないように、直球とスライダーの両方をもっと磨いていかないと」と課題を挙げ、「3位決定戦で投げるとすれば、制球が乱れないように気を付けたい」と気合を入れ直した。

八学光星・成田太一（先発し4失点完投）「序盤は直球、変化球ともに切れがあったが、終盤は疲れが出て球が浮いてしまった。もっとスタミナを付けたい」

弘前東・桜庭佑希也（2安打2打点）「光星の投手から打つことができ、少し自信になった。入り（第1、2打席）が悪かったので、3位決定戦では最初から積極的にいきたい」

デーリー東北新聞社提供